

学校教育目標

笑顔で

かしこく

たくましく

上谷の丘

～ 本当の笑顔と学びがある学校を ～

坂戸市立上谷小学校 学校だより

令和3年 2月 2日 NO. 23

文責 校長 柴崎 利美

児童数191名（2月 2日現在）

最後の学校行事・持久走大会

～ 走ることは、もう一人の自分との対話だ！！

休みたい自分！伸びたい自分！との ～

持久走大会をもって、今年度の全学年が関わる「学校行事」（儀式的なものは除く）が終了しました。コロナ禍の中ではありますが、コースを変更し、学校敷地内での見学・応援をご遠慮いただくなど、なんとか工面しながらの開催でした。体調悪化を訴える児童もなく、無事に終えたことに安堵したと共に、フェンス越しに見学していた保護者・ご家族の方（緊張を破ってスタート！）には、やむを得ないとわかってはいても、大変申し訳なく思っています。



今回の持久走大会ではコロナの影響もあり十分な練習が確保できませんでした。しかし、本番での緊張感・真剣度はビンビン伝わり、そばにいる私もたいそう心を揺さぶられました。

当日朝、全校放送で以下の通り激励しました。

◆今日は青空ではありませんが、走るのにはいい天気だと思います。持久走大会に向けて、体育の時間、休み時間にみなさんはたくさんの距離を走ってきましたね。とってもつらかったり、苦しかったと思います。また、走るのが苦手な子もいるでしょう。けれども、多くの上谷っ子は、走り終えた後、とても気持ちよかったのではないのでしょうか。それは、全力を出したからだと思います。自分の目標があったからだと思います。お友達や先生の応援があったからだと思います。今日は、そのまとめの日です。今までの自分の順位をあげられるか。自分の気持ちに嘘はつかないか。ぜひ、今までの自分を超えていてください。今日は上谷っ子一人ひとりに大いに期待しています。頑張ってください。◆

以下、上谷っ子の感想をほぼ原文のまま何人か掲載します。

○ぼくは、きょ年のじきゅう走は二けただったけど今年は、一けたのじゅんいでよかったです。来年も、一けたのじゅんいがいいです。れんしゅうの時よりも、本番のほうがきんちようしたけどみんなのおうえんがきこえたのでがんばりました。本番の時にれんしゅうの時のせいかをだせてよかったです。来年はコロナウイルスがおさまって、お家の人に来てほしいです。（2年 杉山さん）

○私は持久走大会でやりきることを学びました。それと、友じょうを学びました。本番当日や、練習のころ寒かったです。でも私は、一回休みをしたけど、その他では四周走って最後までがんばってゴールしました。私は、持久走当日で、友じょうのことを学びました。それは、ペアの友達がゴールした後、泣いていた時のことです。私はそのペアの友達に「大丈夫だよ。だって前の人の方が速いだけだもん。だって、見て、このタイム。五分三十九秒だ

よ。最高記録だよ。泣かないで。」と言いました。その後、写真をとったらペアの友達はずっかり、元気になりました。私が走る時、わたなべ先生やすがわら先生、きょうとう先生、ゴールの横にいた友達が、おうえんしてくれました。それに、私が走っている時、私は下を向いて走っていました。そうしたら、わたなべ先生が、「前むいて走りな。」と言ったので私は、前をずっと向いて、走りました。ゴールしたら何位になるか、ドキドキしました。家に帰ると、つかれて、ねてしまいました。このように私は、友達と、やりきることを一月二十八日の持久走大会で分かりました。（3年 吉川さん）

○今日の持久走大会で走る前はきんちょうしていたけど3年生が一生けんめい走っているのを見て自分もきんちょうしないで走れる気もちになった。そして4年生の番ぼくは今までの練習のせいかを果たすために本気を出した。だけど3周目になってからつかれ始めてきた。でもつかれてもうでをよくふって、下を見ないで前を見て走った。でも最後4周目の半分までいくとすごくつかれてる。でも3周目の時よりもうでをふったら足が自然に前へ行った。そしてつかれていても速く走れた。ゴールして12位でも、くやしかったが、がんばれた。（4年 内藤さん）

○私は、最高記録が出せるようにと体育の時間ががんばって走ってきました。げん界をこえたとしてもまだがんばれると思いながら、練習にはげみました。私は、体育の時間以外もたくさん走りました。夜、父と校庭に行つてタイムもはかつたりしました。持久走大会当日は、自分の目標順位に向けてがんばりました。私は後半走りました。順位は、5位でした。あと四人ぬかせば一位になれたので少しくやしい部分もあります。来年は、ぬかされた人をぬかせるように、いままで以上にがんばりたいと思います。（5年 栗原（夢）さん）

○昨日の持久走大会を振り返つて、私は今まで体育でやってきたときよりタイムが10秒ちぢまっていました。体育で何度も何度もやっていくうちに、自分の体力やペースがわかり、本番でもそのその練習のせいかでました。本番は最後Sさんに抜かれそうになつたけど全力で走り切りました。Bグループの中では2位をとれたのでよかったです。それに、持久走大会の児童代表の言葉はきんちょうしたし全校の前での放送だったから、かまないか不安でした。でもかまらずに児童代表の言葉も言えたり、持久走も悔いなく走りきれてよかったです。小学校生活最後の持久走大会はいい思い出になりました。（6年 吉川さん）



◆持久走は人間としての取り組みがそのまま、見たまま出ます（小学生は体は小さいですが）。誰だって全力です。だけど、あと1センチ、あと1ミリでも余力があつたのではないか。頑張れたのではないか…。言葉にはできないが、どの上谷っ子も、もっと「良い自分・目指す自分」に近づくんた。という思いが満ちていました。それに

近づくエネルギーのものは、それは順位かもしれません。それはベストの体調管理かもしれません。練習量かも知れません。走り切つた一人ひとりの上谷っ子の表情は神々しいものでした。なによりもそれを、その頑張りを認めてあげて欲しいと思います。みんな家に帰ればひょうひょうとした顔をしていたと思いますが、一番応援してもらいたかつたのは誰でもない保護者の方だと思つました。上谷っ子はまた一つ、大きく成長しました。◆

